

視察研修は訪れる側と訪ねられる側がありますが、当市でも議会関係の視察研修の受入れは、市議会に対応しており、平成29年以降は水害関連での申し込みが増えています。

議会運営委員会

● 神奈川県高座郡寒川町

議会におけるタブレット端末の導入
▽議会関連資料を電子化(ペーパーレス化)することにより、文書保存・管理の効率化並びに議会運営の効率化を図る。

視察を終えて

今回は、議員を筆頭にペーパーレス化に向かって邁進した寒川町議会
で視察を行った。近年、議会資料は、行政の煩雑化、高度化に伴い様々な資料が数多く提供されている。聞いたところによると、寒川町では、このタブレット端末等を導入したことにより、紙資料年間約10万枚の削減に成功したとのこと。当市議会においても、タブレット端末等を導入すれば、ペーパーレス化による経費削減や資料管理といった作業の効率化、情報伝達の迅速化、議会資料を整理・配布する際に関わっていた職員の負担軽減などの効果が期待できる。早期実現に向けて、さらなる調査・研究をしていかなければならないと感じた。

10月4日
神奈川県高座郡寒川町



2 10月24日
長野県東御市



1 10月23日
長野県長野市



総務委員会 建設経済委員会

1 長野県長野市

道路維持補修工事等に係る包括契約

▽長野市を大きく4つに分けて土木業者と包括契約を締結

▽莫大な箇所の舗装修繕要望があり、工事発注では契約事務など時間を要するが、包括契約により迅速な対応が可能

▽災害・大雨・大雪などによる通行被害時に、緊急対応が可能

▽パトロールや定期点検等により、定期的な維持作業が可能

2 長野県東御市

海野宿滞在型交流施設運営の在り方

▽海野宿の中核となる歴史的建造物を整備改修し、広く公開活用するとともに、ゆったりと長い時間滞在することにより、伝統的建造物への理解と文化振興を図り、あわせて地域活性化と観光振興を図っている。

▽契約期間中に指定管理者が撤退することになり、開設当初の設置目的に沿った事業を続けていくことが不可能になったことで、新たに地域ぐるみでの施設活用方法の検討などを行っている。

視察を終えて

今回は総務委員会・建設経済委員会が合同で視察を行った。長野市においては「道路維持補修工事等に係る包括契約」について視察した。長野市内各地区からの土木要望は、市民からの電話やメール等を含め年間約7,000件も寄せられているが、包括契約をしたことにより迅速に対応できるとのことであった。コスト削減や市民サービスの向上といった観点から、当市においてもインフラ全体のマネジメントをする計画ができるよう研究していく必要があると感じた。また、東御市においては歴史的建造物である「海野宿」の滞在型交流施設運営の在り方について視察を行った。26年度の開設当初は指定管理者による運営であったが、契約期間中に事業者が撤退することになり、施設運営の立て直しを図っている最中であった。設置目的に沿った運営を続けながら、初期投資費用を回収していくことの難しさを痛感した。